

高校公民プリント（過去問類似）

青年期と現代社会 No.5

名前

得点

/10

問1 人間は自然の征服者ではなく、生物共同体の単なる一構成員にすぎないとし、大地や動植物を含む生態系全体を尊重すべきであるとする「土地倫理」を提唱した、アメリカの環境倫理思想家は誰か。（2022年 全国公立入試 類似）

1. レイチェル・カーソン 2. ピーター・シンガー 3. ガレット・ハーディン 4. アルド・レオポルド

問2 近代の科学技術がもたらした物質的豊かさの一方で、地球環境の破壊や核兵器の脅威といった負の側面が顕在化した。これに対して、従来の倫理学が同時代の人間の相互関係のみを対象としていたことを批判し、人類の存続や未来世代、さらには自然に対する責任を基本とする新しい倫理を提唱したドイツ出身の哲学者は誰か。（2015年 全国公立入試 類似）

1. ジョン・ロールズ 2. ピーター・シンガー 3. ハンス・ヨナス 4. マイケル・サンデル

問3 青年期の心理において、欲求不満（フラストレーション）や葛藤（コンフリクト）から生じる不安や苦痛を和らげ、自我を守ろうとする無意識の心の働きを「防衛機制」という。このうち、自分にとって受け入れがたい不快な欲求や記憶を、意識の下に押し込めて忘却しようとする最も基本的な働きを何というか。（2009年 全国公立入試 類似）

1. 否認 2. 逃避 3. 代償 4. 抑圧

問4 アメリカの社会学者が著書『孤独な群衆』の中で提唱した概念で、他者の期待や行動を敏感に察知し、それを自らの行動基準として周囲に同調しようとする、現代の大衆社会に特徴的な社会的性格を何というか。（2019年 全国公立入試 類似）

1. 伝統指向型 2. 他人指向型 3. 内部指向型 4. 市場指向型

問5 古代ローマの政治家・哲学者であり、肉体の衰えを伴う老年期を、豊かな経験に基づく知恵の獲得や精神的な完成の時期として肯定的に捉える著作『老年について』を著した人物は誰か。（2006年 全国公立入試 類似）

1. プロティノス 2. セネカ 3. ルクレティウス 4. キケロ

問6 「男は外で働き、女は家庭を守るべきだ」といった性別に基づく固定的な意識を見直し、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を目指して、1999年に制定された法律は何か。（2009年 全国公立入試 類似）

1. 次世代育成支援対策推進法 2. 労働者災害補償保険法 3. 男女共同参画社会基本法 4. 男女雇用機会均等法

問7 青年期における葛藤（コンフリクト）の具体例として、「条件の良い企業の採用面接と、本当に挑戦したかった劇団のオーディションが同日同時時間帯に重なってしまい、どちらか一方しか選べない状況」のように、魅力的な二つの選択肢のどちらも選びたいが、同時に選択できないために生じる葛藤を何というか。（2011年 全国公立入試 類似）

1. 接近－回避の葛藤 2. 回避－回避の葛藤 3. 接近－接近の葛藤 4. 回避－接近の葛藤

問8 第一次世界大戦前からアフリカのランバレーネ（現在のガボン）に赴き、現地の人々のための医療と布教活動に生涯を捧げた人物は誰か。彼は、すべての生きようとする生命を尊び、他者を助け生かすことを善とする思想を提唱した。（2014年 全国公立入試 類似）

1. ケルケゴール 2. シュヴァイツァー 3. ボンヘッファー 4. シュライアーマー

問9 青年期を、大人としての社会的責任や義務が一時的に免除される「社会的猶予期間」と位置づけ、この時期におけるアイデンティティ（自己同一性）の確立の重要性を説いたアメリカの心理学者は誰か。（2014年 全国公立入試 類似）

1. シュブランガー 2. レヴィン 3. エリクソン 4. オルポート

問10 近代市民社会の成立によって獲得された自由が、孤独や不安をもたらす重荷となり、人々が自発的にファシズムなどの強大な権威へと服従していく心理を分析したドイツ出身の社会心理学者は誰か。（2007年 全国公立入試 類似）

1. ミード 2. パース 3. フロム 4. ユング